

牧義夫
約束まき よし お
牧義夫元厚生労働副大臣
昭和33年名古屋市生まれ
陽明小・汐路中・
昭和高校(28回)卒業
上智大学 文学部中退・防衛庁広報紙記者
・鳴山市衆議院議員秘書を経て
2000年衆議院議員初当選(現在8期)
・衆議院環境委員長・厚生労働委員長
・立候補問題特別委員長など歴任

いのちを守る政治。

暮らしの安心を
政策の真ん中へ

中道改革連合公認

☑歪んだ税制を見直す
「税金一揆!」自民党利権政治がもたらした
不公平税制の抜本的見直し

大企業、超富裕層への超優遇税制を見直せば、優に減税分の財源と今後益々増大する社会保障費の財源を捻出することができます。

消費税を当分の間5%に引き下げ、同時に軽減税率8%とインボイス制度を廃止し、物価を確実に引き下げ、消費を拡大、景気を浮揚させ経済成長をさせます。

8%の食料品の消費税を0%にするには、4兆円の財源が必要です。しかしあの「定額減税」に必要な財源も4兆円だったのです。

物価高対策として食料品の消費税ゼロが実現できました。

消費税5%減税
インボイスは廃止!現在の消費税
定額減税
10% 8%抜本的税制改革
5% 廃止
定額減税
経済成長食料品税率ゼロに!
現在の消費税
食料品
8%抜本的税制改革
定額減税
大企業/富裕層の
法人税・所得税・
金融所得課税の
見直しで捻出☑真の少子化対策
一産みたいをあきらめない社会へ☑食糧安全保障の確立と
日本の主権回復☑高等教育無償化
給付型奨学金の拡充☑国民の命を守る・災害対策
紙の健康保険証の復活

☑エネルギーと環境対策

☑政治への信頼を取り戻す

詳しい政策は
こちらから
makiyoshio.jp

日本維新の会

2枚目
投票用紙は
1枚目投票用紙は
お名前
日本維新の会
中田ちよ
比例代表
と、お書きください!昭和42年6月5日 58歳
兵庫県宝塚市生まれ
昭和32年 慶應義塾大学 家政学部 卒業
栄養士取得
学生時代のアルバイト先をきっかけに起業
現在、社会福祉法人 株会 理事
株式会社カオスシステム代表取締役
名古屋で会社を28年間経営
妻であり、一人娘を持つ母親

地域への取り組み

子ども食堂や一人暮らし高齢者のための
フードバンク、ひとり親支援
イベント、養護施設へのお菓子パン
トリー、また地域ボランティアとして規格外野菜の販売支援にも取り組みながら、日々皆様のお役に立ちたいと活動してまいりました。
これらの活動へ、皆様のお力を
ぜひお貸しください!活動はSNSからも
ご覧いただけます。
小さな約束こそ誠実に。
28年守り続けた「信頼」を、今度は政治の世界で。

日々の暮らしの現場で声を聞き、小さな課題にも一つひとつ向き合い、約束を行動で積み重ねてきました。

1 社会保険料を減額し
確実に手取りを上げます!2 中小企業の税負担を減らし、
雇用を促進して元気な日本経済を取り戻します!3 子育てに自己負担が生じない社会の実現に向け、
教育費、給食費などの完全無償化を進めます!未来のために
子どもたちの
ために「中田ちよ」は、こんな人です。
【信念】
経営者として、年々小さな約束も必ず守る有言実行の政治家。
【原点】
別名「中田ちゃん」。引退した元夫の「残された命は、守ってやっているから」のため。
【日常】
9時半起きで、朝食を介して、現場の苦労がわかるから、変えられる。

日本維新の会 公認

魚住かな
うおづみ
参政党
公認I am
JAPAN

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷、苦しむ一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など国の存亡に関わる課題は手つかずのまま、明るい未来が見えない社会情勢の中で、子どもたちは戦闘戦争にもかぎり、家族観や婚育観など日本人らしい

アイデアティイには破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるではなくひとりひとりが日本そのものであると自觉し、考え方行動する時がきたのです。

「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。

日本はまだ間に合う。

比例は 参政党

ひとりひとりが日本

“3つの柱と
9の政策”

1 日本人を豊かにする

～経済・産業・移民～

の柱

2 日本人を守り抜く

～食と健康・一次産業・エネルギー～

の柱

3 現場の人々が支える日本

～安心医療で健康国家～

の柱

4 食は人の天なり

～食を守る～国民の安全確保そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 エネルギーと資源確保が生命線

～エネルギーと資源確保が命綱～

6 安心医療で健康国家

～安心医療で健康国家～

7 子ども一人につき月10万円

～教育・人づくり・国家観～

8 受験戦争からの解放

～受験戦争からの解放～

9 日本人はみんなの家

～日本はみんなの家～

魚住かな プロフィール
1982年生まれ、鎌倉市で育つ。神奈川大学を卒業後、飲食コンサルの営業や英会話講師を経験。結婚を機に名古屋に住み、専業主婦として子育てに専念。現在は、夫の会社を手伝いながらPTA活動やコンボストの普及活動をしている。昨年からオーガニック給食の活動に力を入れる。

伝えよう 自分の意思を 国政へ

衆議院議員総選挙
最高裁判所裁判官国民審査投票
日

2.8日

投票
時間午前7時から午後8時まで
投票時間は、離島・山間地等の一部の投票所では異なります。

小選挙区選挙

候補者名を記載して投票します。

比例代表選挙

名簿の届出をした政党その他の政治団体の
名前又は略称を記載して投票します。

国民審査

やめさせた方がよいと思う裁判官名の上
の欄に「×」を記載して投票します。<https://senkyo.pref.aichi.jp>期日前投票は1月28日水から2月7日土まで
(最高裁判所裁判官国民審査については、2月1日日から2月7日土まで)

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。)

投票日に予定のある方は「期日前投票制度」をご利用ください。
詳しくは、お住まいの市区町村の選挙管理委員会におたずねください。

(2)